

上下水道事業について



内藤 幹夫 議員



質問…水道水に含まれる有機フッ素化合物（PFAS）について伺います。

答弁…PFASの中でも、健康に影響を与える疑いのあるPFOS、PFOAについて、国は令和2年度に水道水の水質管理目標設定項目として、PFOSとPFOAの合計で1リットル当たり50ナノグラム以下という暫定目標値を定めました。本市

では、令和3年度から定期的に水道水に含まれるPFOS、PFOAの検査を行っています。測定箇所全てにおいて暫定目標値を下回っていますので、安心して水道水をご利用いただきたいと考えています。

質問…本市で水質検査の結果、基準値以上の値が検出された場合、市民への周知方法や対応方針などについて伺います。

答弁…仮に何らかの原因で水源が汚染された場合には、まずはホームページ等で周知をし、一刻も早く原因を特定して措置を講ずるとともに、該当する区域の住民に対し、広報車等で飲用中止のお願いをしたいと思っています。さらに、水道の供給は止めるわけにはいかないため、ほかの配水区域から水道の供給をする体制を図っていきます。

一般質問



大塚 正義 議員



本市の保育所等の保育料及び主食費について

質問…認可外保育施設を含む1号及び2号認定児（満3歳以上）の主食費の免除又は一部免除を望みますが考えを伺います。

答弁…国、県の動向を見るとともに、他市町の状況を見て今後情報収集を行っていきます。

質問…市の財政状況を考慮し、1号、2号認定児の第2子以降に限定した副食費に4500円上限で助成できないか。併せて、

認可外保育施設の第3子以降も保育料を無償化できないか。この1号、2号認定の4500円上限、またこの第3子以降無償化は、本年9月に佐野市で実施された内容に近いものです。本市でもできないか伺います。

答弁…県内近隣の町でも実施する旨も報道されていますが、そちらの状況を見ながら今後情報収集し検討していきたいと考え

ています。

質問…本市の少子化、子育て対策の主眼は何か。都心部より対応策は既に周回遅れ気味ではないかと思えますので伺います。

答弁…大田原市未来創造戦略の子ども子育て計画の中で、個々のメニューを設けて一つ一つ実践する形で実施します。